

2022年11月15日

第34回 全国健康福祉祭 神奈川・横浜・川崎・相模原大会

## ねんりんピックかながわ 2022

神奈川県に 咲かせ長寿の いい笑顔 未病改善でスマイル100歳

報告： 林

全国健康福祉祭（愛称：ねんりんピック）は、スポーツや文化種目の交流大会をはじめ、健康や福祉に関する多彩なイベントを通じ、主に60歳以上の高齢者を中心とする国民の健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与するため、昭和63年（1988）年から各県持ち回りで毎年開催されています。

第34回全国健康福祉祭は、神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市等の主催で、神奈川県内で初めて開催されました。

2021年度に開催予定であった本大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、2022年度に延期となり会期は、令和4年11月12日（土）から11月15日（火）まで行われました。

以下の参加した中で感じたこと他を場面ごとに記載いたします。



総合開会式

11月12日（土）横浜アリーナでの開会式に、県からの招待状が届き出席。選手、大会運営関係者他を含め10,000人を超える人に周りの方から国体よりすごいのと声が聞こえました。

選手の笑顔、開会式に参加した出演者・会場に出席の関係者の方との一体感ある素晴らしい開会式でした。「これから横須賀市では卓球他で全国の方をおもてなしする」と心に決めました。

知事があいさつの中で触れられていた、超高齢化社会を乗り切る「未病改善」の考え方に共鳴を覚えました。「未病」とは健康と病気の間に連続的な変化があること。「食・運動・社会参加」の3つを取り組んでいくことの大切さ。



卓球会場

11月13日、14日横須賀アリーナで開催されているが、14日（月）の決勝トーナメントで応援に伺った。都道府県と政令指定都市から69チーム、469名が卓球会場にこられた。80歳代は散見され、最高齢は89歳の方であった。（全体では健康マージャンに98歳の方が参加されている）



紺野さん講演会直前風景  
受付誘導係他を担当

11月15日（火）閉会式他にボランティアとして配置されました。閉会式前の横須賀芸術劇場小劇場で、女優の紺野美沙子氏による、豊かな人生を築いていくために、運動・睡眠といった毎日の健康管理とあわせて、自分らしく・幸せを感じながら日々過ごしていくことの大切さや、未病改善、健康管理の秘訣についての講演。

3ヶ所に参加しいろいろな気づきを得ました。